

= El Saltillo de la Cardina - Sardana =

Cataluña-España

過去から日本に伝わっている有名な曲、踊り方だが、各種情報により補正した。

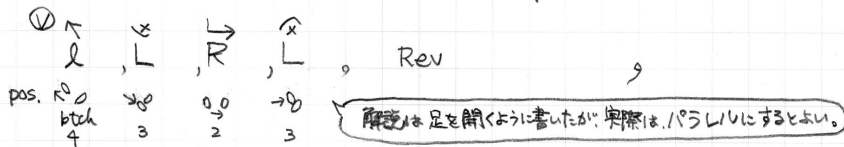
Music: Zurnoton D1307 "El Saltillo de la Cardina"

8~16人程度、closed Circle。♂♀はなるべく交互で、西側女性の男性は手のひら上で連手。間隔広め。

◎基本Step

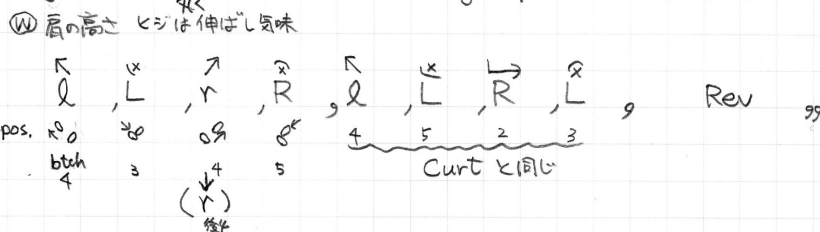
« curt »

クルツ ~ Short Step



« llarg »

ヤーク ~ Long Step



< a l'aire >

アライラ 空振り

③ 目の高さ、足運びは llarg と同じ。tch step の 5cts. にて 2 回つらバウンス。
 tch は toetch になる。ヒールは上げる。

< saltat >

サルタット はねて

④ 頭の高さ、a l'aire のバランスを Jump に変える。

◎踊り方 --- (C+C+LL)

I. flaviol イントロ

C = II. « curt » × 9 往復 + « curt » の Ending = 10cts.

C = III. II と同じ

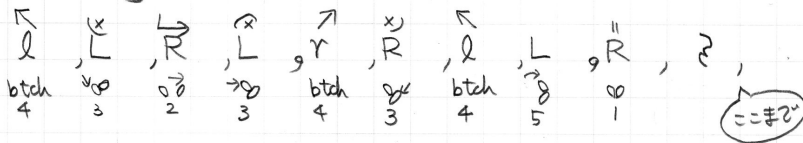
LL = IV. « llarg » × 4.5 往復 + « a l'aire » × 2.5 往復 + « saltat » 4cts + « llarg » の Ending 18cts.

V. 連手前へ突き出す (または、下におろす) + 4cts.

ややこしいが、
 8 往復 + Ending
 ところが曲調により
 3 段階に変わるだけ

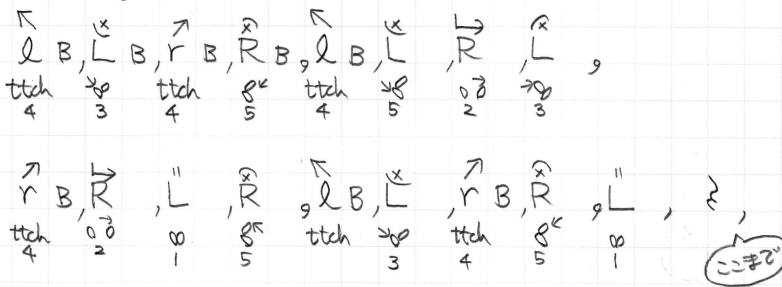
Zurnoton CD では、踊り方 ~ 曲の構成により、「C+C+LL」、「C+C+LL+LL」、「C+C+LL+LL+C+LL」を収録した。

«Curt» の Ending



«llarg» の Ending

saltat n Step 2:



«一ロメモ»

- 色々な曲で Sardana は踊られるが、ほとんどは上記 Step で構成される。
- 約1000年前から踊られているが、現在の形になったのは 1840年頃。仕立屋と作曲家と演奏家が3人で標準化した。
- 一般に踊られるときの Hold は上記だが、Stage に載せる際のスタイルが違うが、サークルを「張り」、①もほとんど肩の高さ水平に保った形で Curt が踊られることが多い。
- Sardana は語源的には Sardinia から来ているらしい。
- 小さいサークルを開けるが、中央には踊り手の手荷物がかかる。踊っている最中に持ち去られないためである。
- 手を上げるときは ②と書いたが、ヒジは伸び気味。指をからめるのもアリ。

Dené

H25.7.9
2018.1.19 追記